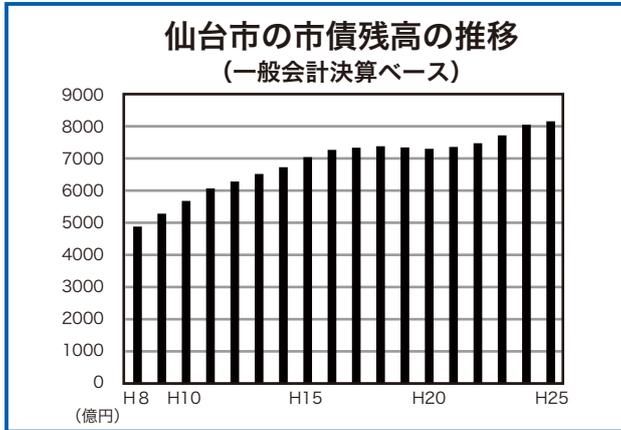


■ 財政の健全化

仙台市の財政は、行政需要の増大や東日本大震災の影響などにより、確実に悪化してきています。いくら市民サービスが充実したとしても、財政が破綻しては元も子もありません。勇気をもって行政改革に臨み、財政の健全化を推進していく必要があります。



■ 着実に実行

地方行政は、市長と議会による二元代表制によって運営されています。地方分権の時代に議会が求められるのは、市政のチェック機能だけでなく、積極的な政策の立案・実行です。

私が「空き家対策条例検討会議」の座長として条例案を取りまとめ、平成25年第4回定例会に議員提案し、条例が施行されたことは既にご報告したとおりです。

今後とも、市民の皆様の声をしっかりと受け止



空き家対策条例案の市民説明会

め、今回紙面で取り上げました政策課題はもとより、眼前の行政課題の着実な解決に向け、全力で取り組んでまいります。ご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

議会 報告

市長減給議案可決も、 ほど遠い信頼回復

6月議会の最大の争点であった市長減給議案に、私は反対の青票を投じました。

青葉区選管の票水増し問題に関し、市長及び副市長の給料を減額する条例案については、代表質疑、一般質問、委員会で厳しい指摘・質問が相次ぎました。

厳しい指摘をしておきながら、「内容には不満だが消極的賛成」「市長のメンツを立てた」「与党会派だから反対できない」など、市民にわかりにくい対応を繰り返した会派があったことは誠に残念です。

私の会派「自由民主党・仙台」は、6月議会に厳しいスタンスで臨みました。市長は実態解明を果たせなかったにもかかわらず、3人の職員を厳罰（懲戒免職）に処し、一方で、市長自身には、他都市の事例に比較しても極めて甘い減給案となっており、賛成できるものではありません。

行政のトップである市長が、今回の問題に対して率先して自らを厳しく律し、その姿勢を全職員に示していくことが重要であり、また、その姿勢こそが、信頼回復に向けた第一歩であると考えます。

斎藤のりおプロフィール

- ◆ 昭和29年8月生まれ
- ◆ 古川高校・北海道大学経済学部卒業
- ◆ 宮城県職員となる
- ◆ 平成15年 仙台市議会議員初当選(現在3期目)
- ◆ 自由民主党泉区支部長
- ◆ 仙台市議会において
 - 東西線・まちづくり促進調査特別委員会委員長
 - 会派「自由民主党・仙台」会長
 - スポーツ市議の会 会長

斎藤のりお事務所

TEL&FAX 022-375-2101

- 住所 仙台市泉区泉中央3-27-10
- ホームページ <http://www.saito-norio.net>
- e-mail info@saito-norio.net



みなさまの
ご意見を
お待ちしております!!

